

# 写真募集

社会の動向に鋭い視線を投げかけ、情熱を燃やす新進写真家へ！  
社団法人日本写真家協会が公募する

## 第7回「名取洋之助写真賞」

締切：2011年8月19日(金)

持参の場合も8月19日(金)午後5時まで

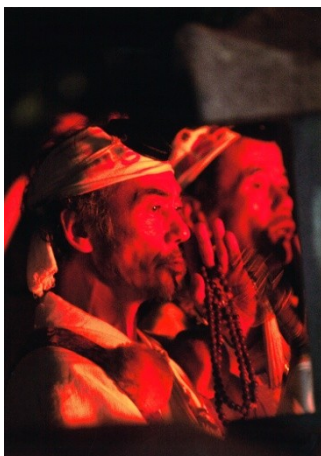
応募資格：30歳まで(1981年1月1日以降生まれ)の方  
提出作品：六ツ切またはA4サイズの同一テーマの作品30点  
応募用紙はJPSホームページ <http://www.jps.gr.jp/> から

## 第6回名取洋之助写真賞受賞作品

第6回名取洋之助写真賞：トム 宮川 コールトン「オーガニック アメリカンズ」



第6回名取洋之助写真賞奨励賞：中塩 正樹「奈良の祭り人 極上の刻」



# 写真募集

社団法人日本写真家協会は、“新進写真家の発掘と活動を奨励する”ために、30歳までの写真家を対象とした第7回「名取洋之助写真賞」の公募を行います。  
時代を捉える鋭い眼差しと豊かな感性による、斬新な作品を期待します。

## 【応募要項】

### ●応募資格

応募者は30歳まで（1981年1月1日以降生まれ）の方で、プロ、アマチュアを問いません。

### ●応募規定

- 1：発表、未発表を問いませんが、他のコンテストで受賞が決定または内定しているものは除きます。
- 2：フィルム、デジタルなど、いずれで撮影されたものでも構いません。ただし加工・合成処理したものは不可とします。  
※受賞作品は写真展用に大伸ばし（半切～全紙）にしますので、デジタルの場合は、撮影画素数にご留意ください。
- 3：提出作品は、六ツ切（8×10インチ）またはA4サイズの同一テーマの作品（プリント）30点。  
作品は額装、台紙貼り、製本、ファイリング等はしないでください。  
※必ず作品の順番が分かるよう、裏面に番号を明記してください。
- 4：応募作品に添付するもの、撮影者履歴、題名（タイトル）、撮影意図（800～1000字以内）を同封。
- 5：公序良俗に反しないもの、被写体の肖像権のほか管理、所有権等について問題が生じないもの。
- 6：受賞作品の原板（フィルム、データ等）を提出していただきます。原板は使用後返却します。

### ●選考委員

選考は、当協会が委嘱する選考委員によって行います。

### ●表彰・賞金等

名取洋之助写真賞 1名 賞金 10万円、及びJPSが企画する写真集の制作(写真集の印税等は発生しません)  
奨励賞 1名 賞金 10万円

東京、大阪で写真展の開催

授賞式、平成23年12月7日（水）午後5時、祝賀会、午後6時 アルカディア市ヶ谷

### ●著作権・使用権の許諾

- 1：受賞作品の著作権は撮影者に帰属します。
- 2：受賞作品は発表後2年間、主催者（日本写真家協会）が優先して使用します。
- 3：受賞作品は印刷、放送媒体のほかインターネット等で使用されることを承諾していただきます。
- 4：名取洋之助写真賞のPR広告活動に使用いたします。

### ●応募期間と送付・提出先

- 1：応募期間 2011年7月1日（金）～8月19日（金）午後5時必着。
- 2：送付・提出先 書留郵便または宅配便（送料は応募者負担）または持参。

※ 持参の場合も8月19日（金）午後5時まで。

〒102-0082 東京都千代田区一番町25 JCIIビル303

社団法人 日本写真家協会「名取洋之助写真賞」係

TEL：03-3265-7451 FAX：03-3265-7460 <http://www.jps.gr.jp/>

### ●作品の返却

- 1：応募作品は受賞作品発表後2ヵ月以内に返却します。
- 2：返却希望の方は、返却希望と朱書きしてください。受取人払いの宅配便にて返却します。  
※ただし、受賞作品の返却は致しません。

### ●応募票

応募票は日本写真家協会(JPS)のホームページからダウンロードするか、FAXにてご請求下さい。

<http://www.jps.gr.jp/> FAX:03-3265-7460

〒102-0082 東京都千代田区一番町25 JCIIビル303 社団法人 日本写真家協会

### ●名取洋之助（1910～62年）

ドイツに留学していた名取洋之助は23歳の若さで、1930年代ヨーロッパで勃興していたフォト・ルポルタージュをわが国に導入し、木村伊兵衛らと33年「日本工房」を興す。その後、土門拳、藤本四八、亀倉雄策らと『NIPPON』を創刊し、フォト・ジャーナリズムを確立する。戦後は47年に『週刊サン・ニュース』を創刊。50年に『岩波写真文庫』を創るなど、写真家であると同時にすぐれた企画、編集者でもありました。



